

## 事業名：ジュニアリーダー養成事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	05 豊かさや創造性を育む生涯学習環境の充実								
施策	03 青少年健全育成の推進								
基本事業	01 青少年健全育成活動の充実								
開始年度	昭和62年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内小学5年生～高校3年生	
手段（事務事業の内容、やり方）	
団体活動の楽しさや地域の子どものリーダーとしての知識や実技指導の講習会を実施する。（市内）さらに管内、道レベルでのジュニアリーダー養成への参加を促進する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
青少年リーダーの養成を通じて、地域子ども会の活性化と青少年の健全育成を促進する。	

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市内小学5年生～高校3年生の数	人	11,102	10,934	10,629	10,410
対象指標2						
活動指標1	講習会開催回数	回	2	2	2	2
活動指標2						
成果指標1	参加者数（市開催）	人	17	39	34	25
成果指標2	参加者数（管内・北海道主催）	人	23	10	7	8
事業費(A)		千円	60	64	81	120
正職員人件費(B)		千円	1,204	1,202	1,172	1,174
総事業費(A+B)		千円	1,264	1,266	1,253	1,294

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
25年度	着衣水泳体験講座 カヌー一等乗船体験講習会	講習会謝礼・認定証等 25千円 バス借上げ料 35千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
<p>地域の子どものリーダーを養成することで育成会等の自主活動を活発にし、地域の大人や子ども同士の交流と社会参加を促すことを目指しているが、開講数が限定的であることなどからリーダー養成には至っていない。類似事業との統合を検討し、次代を担う人材の育成に努めている必要がある。</p>	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
全国子ども会連合会の呼びかけによる全国的な事業であり、北海道及び札幌広域圏においても上位の事業を行っており青少年活動の意義を理解し、地域に密着した活動を推進するリーダーを養成する事業として妥当である。	
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
北海道及び札幌広域圏が実施する上位事業へのステップとして基礎知識の習得に貢献している。	
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
様々な体験プログラムを通して青少年活動を推進するためのリーダーを養成するが、段階的にリーダー養成・育成・活用の仕組みづくりを図る必要がある。	
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
魅力のある企画作りには工夫を要するが、リーダーの養成・育成・活用のあり方を研究整理し、事業計画に反映する必要がある。	
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠
事業予算としては極限まで圧縮してきている。	